

先輩に
会いたい!

卒業生に聞く 母校への想い

開明

2014年に創立100周年の節目を迎える同校は、1991年の中学校開設以来、6年一貫教育の共学進学校へと着実に歩みを進めてきました。その変革を肌で感じてきた卒業生に、恩師を交えて中高時代を振り返っていただきます。

塾予備校には行かず、学校での勉強だけで京大に合格!

—お二人は京都大学に現役合格されていきますが、京大受験を意識し出したのはいつ頃ですか?

土橋くん 高3になってからです。それまで京大は模試ではE判定だったんですが、この頃から成績が伸びてきて、教職につくことが夢なので、学力が届くなら京大で学びたいと思って。

小原くん 僕も高3からです。受験指導や志望校ごとの特別授業などが始まったことで、受験を意識し始めました。実は僕、今こそ理学部で学んでいますが、中学時代に数学の定期考査で17点を取ったことが(笑)。でもそのとき数学の先生に言われたんです。「小原は数学のセンスがあるのにもったいない!」って。それからですね、意

識が変わったのは。ノートの取り方など、自分なりに効率の良い勉強法を工夫するようになりました。土橋くん 僕は中3の時の英語の先生の指導がきっかけで、自分の学習スタイルを確立するように。毎日の学習習慣が身についた事で、学力も自然とアップしました。

—塾・予備校には通わなかったのですか?

小原くん 行かなかったですね。

土橋くん 行く必要がないと思いましたが、学校での勉強だけで充分だった。京大受験を意識してからも、基本は開明の先生たちの授業に頼ってました。特に英語・数学・国語に関しては、授業を確実に理解しておけばまず大丈夫でした。開明には、毎朝行われる早朝テストというものがあるって、それで自分の授業理解度を確認していました。後は放課

後。遊ぶ予定があるとき以外は、友達と誘い合って放課後に学校で20時くらいまで勉強。ただし、家では勉強しない!毎日8時間の睡眠時間を確保してました(笑)。

海原先生 開明の生徒には、放課後に学校で自習する習慣が身についているんです。また去年から、小原くんが後輩の指導に来てくれています。今日も、「もっと勉強したい」という生徒が放課後、一生懸命指導を受けていたね。京大に進学した先輩に教えてもらえるとあって、よい刺激になってるよ。

小原くん 僕にとっても勉強になるのでやりがいを感じています。たまに他学部の仲間も誘って、母校に来てますよ(小原くんの学年は京大に14名が進学)。海原先生も、

医学部志望者向けの数学特別授業を担当されていますよね?

海原先生 小原くんの学年は僕でした。

本校では、医学部志望者が多い年は、放課後に医学部受験を想定した数学と英語の特別授業を開くんです。

小原くん 僕が開明中学校に入学したの

しまなみ海道を夜通し歩く「夜間歩行」は、中学生生活の集大成。忍耐力や克己心を養い、友情や協調性を育む。



は8年前ですが、中学入試の問題ひとつ見ても、年を重ねるごとに開明の変化を感じます。

海原先生 小原くんが卒業してからの取り組みのひとつに、添削指導というものがあります。希望する生徒に課題を与え、マンツーマンや添削指導でフォローするものです。

土橋くん 僕はよく活用させてもらってました。個人的に見てもらえるって、生徒にとったら結構うれしんですよ。生徒一人ひとりに合わせて出題・添削してくれるので、苦手克服に役立つし。もともと、僕の学年は自発的に先生に「問題作って!」って迫る生徒が多かったけれど(笑)。あと、放課後の職員室に生徒の行列ができるのは、開明ではあたりまえの光景なんです。並ぶのが嫌で、僕は朝早めに登校して質問に行っていました。

小原くん 開明には面白い授業をする先生が多くいて、雑談と聞いたら実はその日の授業内容にリンクしてたりするので、飽きませんでした。

土橋くん 次はどんな授業かと楽しみに苦にならない。僕は、化学の林先生の授業が好きでした。初回の授業で、「僕の授業内容をモノにしたら、京大入試の化学は問

勉強も行事も思い出がいっぱい!

●京都大学農学部1回生...土橋 正幸くん

●京都大学理学部3回生...小原 聖也くん



今回取材に協力してくれたのは、数学科・海原 直之先生(左)、小原 聖也くん(中央)、土橋 正幸くん(右)。恩師との思い出話に花が咲きます。

違いなく通る」と豪語されていて(笑)。でも実際、どんな質問にもすぐ答えてくれる凄いな先生でした。

一致団結して結果を出す 開明の行事の「コ」が自慢!

—勉強以外で、心に残っていることは何ですか?

小原くん 開明中学校はとにかく行事が多い! 弁論大会やカルタ大会もいけど、やっぱり文化祭や音楽発表会といったみんなの力を合わせる行事の方が思い出深いです。

土橋くん 音楽発表会では衣装も生徒が手作りするんです。

土橋くん 中3の時のクラスでは、日曜も歌の練習や衣装作りに熱中。マシンやボタンがけも頑張りました。衣装には、スプレーでペイントしてラメもつけて。それを、最初は見えないように黒のマントで隠して、途中でパッと脱ぐ。そうしたら観客席から「おお」と歓声が(笑)。

残らないのがおかしいとか...。後半は寝ながら歩いてました。小原くん 気づいたら全然知らんところを歩いて、「ここどこお??」みたいな。卒業アルバムに載った夜間歩行の写真に僕が映ってるんですが、寝てるんですよ(笑)。

塾に行くかわりに、放課後に残って自習室で勉強する生徒が多い。



土橋くん でもゴールは感動した。ゴール直前の最後の橋を渡る途中で、朝日が昇って来て...!

小原くん これから開明をめざす生徒たちにも、行事がたくさんある学校生活を楽しんで欲しい。

—2年後には新校舎が完成しますしね。

小原くん 温水プールやテラスつきの食堂があるとか...うらやましい! 土橋くん でも制服は今のままで! やっぱ開明生は、詰襟じゃないとね(笑)。